

2020年3月9日

地域の皆様へ

総合病院 南生協病院
院長 長江浩幸

安全を確認しましたので 3月9日（月）より南生協病院の一般外来を再開いたします

1. 一般外来の再開について

3月1日（日）より一時的に休止していた南生協病院の一般外来を3月9日（月）より再開いたします。救急外来と新規入院の再開については、また改めてお知らせいたします。

（1）休止の経緯

2月29日に、入院後数日経過した患者様が新型コロナウイルス感染と診断されました。しばらく4床部屋で過ごされていたため、スタッフ・他の患者様への院内感染の可能性を考え、保健センターと相談の上、3月1日より病院を休止することとしました。

一般外来・救急外来については、感染が判明した患者様が一時滞在されていたことから、念のため休止としました。

この間、地域の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけしました。

入院患者様とスタッフの安全を守るための判断として、ご理解いただければ幸いです。

（2）再開を判断した理由

3月9日（月）より一般外来を再開できると判断した理由は、次の3点です

- ①現在までのところ、スタッフ・患者様の間で院内感染は確認されていないこと
- ②この間、院内の清掃と環境消毒に努めてきたこと
- ③保健センターより、再開に問題ないとのご判断をいただいていること

（3）再開後の診療について

休止の間にも日々感染の拡大が報じられており、地域の皆様もご不安かと思えます。

再開にあたっては、新型コロナウイルスに感染している方が来院された場合に備え、次の対策を実施します。

- ①発熱・呼吸器症状のある患者様を把握し、それ以外の方と接触されないよう診察します。
- ②スタッフによる標準予防策・院内清掃等を引き続き徹底して実施します。

2. 公表の理由

（1）患者様の感染を公表した理由

①南生協病院は、地域のかかりつけ病院としての責任を負っています。診療の休止という重大な判断をしたからには、その理由を地域の組合員さんや社会に説明しなければ、疑心暗鬼を招き、地域に不安と混乱を与えてしまいます。長い目で見て地域の安心につながると考え公表しました。

②肺炎球菌など、新型コロナウイルス以外の診断がつく患者様であっても、新型コロナウイルスも併存している可能性がある点についてお伝えし、警鐘を鳴らすことが、公衆衛生上有益であると判断しました。

(2) その後の反応について

当院は、患者様の感染が判明した時点で記者会見を行って病院名を公表し、できる限り丁寧に説明させていただきました。しかしその後、スタッフから「南生協病院の職員の子はしばらく預かることができないと言われた」「夫が勤務先で出勤停止になった」といった声が多く寄せられました。

保育園・小学校・勤務先の方々に、丁寧に説明させていただくことでご理解いただけたものがほとんどですが、何が正しいのかがわからない中で、それぞれが悩みながら対応されていることがわかりました。

3. いまこそ地域みんなで感染予防に取り組みましょう

新型コロナウイルスは、若い人にうつっても、何も症状が出ないか、ちょっとした風邪くらいですむことがほとんどです。しかし、高齢の方や、もともと病気をお持ちの方にうつってしまうと、重い病気になって、時には命にかかわることもあります。

今、いちばん大切なのは、みんなが新型コロナウイルスを防ぐという強い気持ちでつながり、気が付かないうちに誰かにうつさないよう、ひとりひとりが感染の予防に取り組むことです。

家族・会社・友人といったつながりの中で、次の3つのことにみんなで取り組みましょう。

【1】しっかり手洗い（外から帰ったとき、登校したとき、入社したときなど）

どこかに触る前に、手についているかもしれないウイルスを洗い流すために、20秒以上かけて、ゆっくりていねいに手洗いをしましょう。

自分がうつらないためだけでなく、人にうつさないために手洗いをすると考えましょう。

手を洗っていない人がいたら、そっと声をかけましょう。

もっと楽しく手洗いができるやり方を見つけたら、それを誰かと共有しましょう。

【2】せきエチケット（せき・くしゃみのとき）

せき・くしゃみのときはマスクをつけるか、とっさのときは口や鼻をハンカチや肘などで覆いましょう。

飛び散ったウイルスを他の人がすいこんだり、誰かが触るかもしれない場所にウイルスがつくことを防ぐことができます。

マスクをせずにせきやくしゃみをしている人がいたら、もし可能ならそっとマスクを渡してあげましょう。

【3】熱や鼻水・咳の症状があるときは家で休む

外に出ず、家でゆっくり休みましょう。

Q&A：一般外来再開にあたってのご質問にお答えします

Q1：1例目の発症後の対応は？

直ちに保健センターに連絡し、その指示のもとで感染対策を開始しました。
患者様と接触したスタッフについては自宅待機としました。
また、入院されていた患者様についても、退院を一時停止としました。

Q2：患者さんはどこで感染されたのですか？

これまで当院では、肺炎で入院された患者様4人が新型コロナウイルス感染症と診断されています。

うち3人は同じ共同住宅で暮らしておられる方で、相次いで発病されました。
あとのお1人は、その方が利用されていた介護施設で他にも新型コロナ感染症の方がみつかっているとのことです。なお、この共同住宅と介護施設は、南生協病院（南医療生活協同組合）の関連施設ではありません。
保健センターも、4人とも、入院前に生活の場で感染されていた可能性が高いと判断されています。

Q3：院内感染は起きていませんか？

3月8日現在、患者様、スタッフにあらたな感染者はみつかっておりません。よって院内感染は発生しておりません。

Q4：自宅待機したスタッフはどうなっていますか？

感染対策チームが患者様との接触状況を精査し、職場復帰を進めています。

Q5：患者の退院はどのように判断していますか？

入院患者様については、感染が確認された患者様を担当したスタッフとの接触状況をお一人ずつ確認しました。該当スタッフと入院中に接触の機会がなく、かつ新たな発熱がない方については退院可と判断しました。

該当スタッフと接触の機会があった患者様については、入院を継続いただき、現在も慎重に健康観察を行っています。

Q6：一般外来の再開は早すぎませんか？

「1.一般外来の再開について」でお伝えした通り、一般外来の安全が確認できましたので、再開とさせていただきます。

医療の対象は新型コロナウイルスだけではなく、様々な疾患を抱えておられる地域の皆様のことにも心を配る必要がありますこと、どうぞご理解ください。

Q7：PCR検査をしてほしいのですが？

健康保険の適応となりましたが、検査できる枠が限られており、現在のところ自由に検査はできません。ご了承ください。

以上